

令和2年度全国メディカルコントロール協議会連絡会（第2回）を開催しました

消防庁救急企画室

1. はじめに

令和3年1月29日(金)に、消防庁と厚生労働省の共催により、「令和2年度全国メディカルコントロール協議会連絡会(第2回)」を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に鑑み、同時期に開催された「第29回全国救急隊員シンポジウム」と同様に、出演者・聴講者ともに現地に集まらないオンライン形式にて開催しました。

「全国メディカルコントロール協議会連絡会」は、全国のメディカルコントロール協議会に関係する機関（救急医療に関係する学会、団体、消防機関及び医療機関等）がメディカルコントロール体制に関する課題を整理するとともに、他のメディカルコントロール協議会等から学ぶことができるよう情報共有及び提言の場として行っているもので、平成19年度の初開催以来、今年度で14年目となります。



配信基地局の様子

2. 我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表

第1部の「我らの地域のメディカルコントロール取組事例発表“メディカルコントロール協議会による日常的な教育に関わる取組（質の担保・方法）”」では、各地域の日常的な教育の好事例について事前に募集し、9団体からの応募をいただきましたが、このうち世話人会の査読結果により選考された7団体に、取組について発表していただきました。

世話人及び聴講者によるオンライン投票が行われた結果、福岡地域救急業務メディカルコントロール協議会の「技術遠隔指導アプリを用いた気管挿管認定救命士の再教育プログラムとその評価」が最優秀活躍賞を受賞しました。



表彰式の様子

3. パネルディスカッション

第2部では、座長に京都第一赤十字病院救命救急センター長の高階謙一郎先生を迎え、「新型コロナウイルス感染症対策で消防機関の救急業務はどう変わった」をテーマに、救急現場活動については北九州市消防局、豊橋市消防局から、119番通報・口頭指導及び応急手当普及については藤沢市消防局、新潟市消防局から発表していただきました。その後、アドバイザーとして堺市立総合医療センター救命救急センター副センター長の森田正則先生を交え、活発なディスカッションが行われました。



開催にご協力いただいた堺市消防局及び全国救急隊員シンポジウム主催事務局の皆様



パネルディスカッションの様子

4. おわりに

今連絡会は、堺市消防局内に配信基地局を設置し、オンラインでの開催となりました。事前準備や施設提供などで多大なご尽力をいただいた堺市消防局の皆様をはじめとする全国救急隊員シンポジウム主催事務局の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

今後も情報共有及び提言の場として「全国メディカルコントロール協議会連絡会」を開催する予定です。令和3年度の「全国メディカルコントロール協議会連絡会(第1回)」は、令和3年6月10日(木)にオンラインでの開催を予定しています。

例年以上に多くの関心をもってもらえるよう努めてまいりますので、多数の方にご参加いただきますようお願いいたします。

問い合わせ先

消防庁救急企画室 救急推進係
TEL: 03-5253-7529